

営農情報

第8号 平成26年7月16日発行

(水稲営農情報7月、8月号)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 生育概況

育苗～移植は順調に行われ、活着もおおむね良好ですが、日照不足によりやや徒長気味の生育となっています。

2 水管理

(1) 倒伏防止のためには、水管理がもっとも重要です。必要茎数(20本/株程度)が確保できたら、早めに中干しを実施します(目安は田植後1か月)。

特に、「元気つくし」の倒伏防止のためには適期中干しが重要です。

(2) 中干し後は、間断かん水を行います。なお、中干しが不十分な所や、葉色が濃く倒伏の恐れのある所では、強めの間断かん水を行ってください。

(3) その後、穂ばらみ期から穂揃期にかけては、最も水分が必要な時期なので水をためます。

(4) 高温障害回避のため、用水が豊富にある場合は、出穂後20日間程度かけ流しを行い、温度を下げましょう。

3 穂肥

穂肥時期の目安と施用量は、以下のとおりです。それぞれのほ場で幼穂長や葉色を観察し、穂肥時期や量を決定します。

品種	第1回目穂肥施用		10a当たり施用量(kg)	
	穂肥時期の目安	幼穂長(mm)	NK7号	
元気つくし	8/5頃	5	15	10
ヒノヒカリ	8/11頃	3~5	20	なし
ツクシホマレ	8/13頃	2	25	20

※ 穂肥2回目は、1回目の約1週間後に施用します。

4 カメムシ対策

カメムシ対策には、出穂後の農薬による防除を行いますが、発生を抑えるためには、畦畔などの草刈りが重要です。イネの出穂14日前までに畦畔など水田周辺の除草を徹底し、カメムシの住み処を無くしましょう。ただし、イネが出穂してからの除草は、カメムシの水田への飛び込みを助長するので禁物です。

5 病害虫防除

現在、病害虫防除所によるウンカ類の発生予報は平年並みとなっていますが、ほ場での発生状況を十分観察し、適期防除に努めてください。

① 基本防除は、下表のとおり8月上旬ごろに行います。

品種	剤型	薬剤	希釈倍数
全品種	粉剤	アプロードモンカットスタークルF粉剤DL	4kg/10a
	液剤	アプロードモンカットエアー スタークル顆粒水溶剤	1000倍 2000倍

注)ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行います。

② 出穂前～出穂期の補正防除は、以下の通りです。

元気つくしで、葉いもちが見られる場合は注意しましょう。

品種	防除時期	薬剤(全品種とも粉・液いずれか)	希釈倍数
元気つくし	8月16～19日頃	(粉剤)	4kg/10a
ヒノヒカリ	8月25～31日頃	ブラシントレボン粉剤DL	
ツクシホマレ	8月31日～ 9月5日頃	(液剤) ブラシントレボン水和剤	500倍

注)液剤を使用する際の散布水量は、10a当たり100リットルです。

6 「元気つくし」指標田について

大川市、大木町、城島町に各1か所ずつ「元気つくし」の指標田を設置し、生育状況や病害虫の発生状況について調査を行っています。

日頃の管理作業の参考にして下さい。ほ場の詳しい場所は、JA農産課、各営農センターにお尋ねください。



←このマークのついた
看板が目印です。

- ◆ 元気つくし栽培講習会開催
- ・日時 平成26年7月31日(木) 14時
- ・場所 JA福岡大城 城島カントリー集合
※ 元気つくしを作付されていない方でも
興味のある方は是非お越し下さい。
- ・問合せ先 本店 農産課(担当:平田)
TEL 0944-32-1341

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!